

中間答弁

安全と要員は表裏一体

宮野 政策・調査部長



◆昨年を上回る賃金実態調査の集約率に、感謝を申し上げたい。これを武器に春闘を闘っていく。

◆賃金実態調査の際に、無回答や未回答が少し多くなってきた。次回はなるべく白紙のない状態のものを集めて、質の高い賃金実態調査にしていきたい。

◆バスに上回る賃金実態調査の集約率に、感謝を申し上げたい。これを武器に春闘を闘っていく。

◆宇部線のBRT化について、線路をコンクリートで舗装して、その上をバスが走る専用道で、将来は、自動運転なども検討されているという記事内容だったと

城副執行委員長 総括答弁

◆14名の中央委員のみなさんが、今後の方向性に肉付

けをしていただいた。建設的、前向きなご意見をいただき、ほんとうに感謝を申し上げます。

◆壇上から見ると、みなさんの顔がよく見える。ほんとうに若くなつたと感じている。

1987年



4月1日に、27万7千人の国鉄職員が、1日にして20万人のJR社員に生まれ変わった。当時の我々の労働条件・働く環境は、賃金も含めて、本当に低く抑えられていた。30年経った今、羨ましがられるようなJR

認識している。JRが正式に決めたという訳ではなく、宇部市が主体となつて、検討を進めている。

宇部線の乗降が2,500人。小野田線が470人。LRTが導入されている吉備線の5,750人と

全職場の2万6千人が チェック機能そのもの

羽野 企画・総務部長



◆我々のチェック機能とは何か？ 会社のように「制

度」や「体制」です。個人が2万6千人もいるという最大のチェック機能だと思つている。

2万6千人の、それぞれが、職場で「おかしな」と気づき、声を上げることが重要であり、会社のように体制を組んで、チェック

6年連続のベアに こだわった春闘を展開

禅野 賃金対策部長



◆この5年の春闘で、4,450円を積み上げることができた。今後も、グループや

両バス本所に相乗効果が現

機能高めると大段に振りかぶるのではなく、普通に現場にいるみなさんが、そのチェック機能そのものなのである。

◆カンパニ制については、何をやるのかも含めて、我々も実は何も聞いていない。

われらも、6年連続のベアにこだわった春闘を展開していきたい。

◆手当について、本部から350件ほど要求が挙がついて、38項目に集約をさせていた。しっかりと、組合員のモチベーションが上がるような手当を獲得できるように、議論していきたい。

◆新幹線重大インシデントから1年。新幹線鉄道事業

ただ、組合として、不利益にならないようにだけは、チェックしていきたい。

◆賃金制度の「歪み」について、一言で言うと起りうる現象である。

死亡労災が発生した。スタートしてすぐに、達成すべき目標の一つが、頓挫した。

よくよく考えてみると、グループ会社の下請け、二次下請けの方々が死傷されている。残念ながら、我々

本部が発足して8ヶ月が経過。これまでも新幹線協議会と新幹線問題対策協議会を開催しながら、追加検証を行ってきた。今後も会社が進める施策についてもしっかりと検証していきたい。

◆今後フォローアップ会議の報告も、共有化しながら、進めていきたい。

◆国交省が、異常時における情報提供に指針を出した。JR西日本の駅や車内における案内放送を4カ国及び2カ国語で実施する方向で調整している。ご協力いただきたい。

◆さくら号の乗組数については、インバウンドのお客様対応

なるように制度設計されているので、生涯賃金まで含めて逆算されたかは判らない。

◆ただ、今後、骨太運用のあり方、階層のあり方、P職の位置づけ等も含めて、議論していきたい。

◆京都地本の若い組合員が、一人国労に行ってしまった。職場集会にも参加させていた。その方が、日頃ど

をはじめ苦勞されていることは認識している。会社は乗組数について減らすことは考

◆のぞみ号に乘れず、さくら号に集中するといった問題は、JR西日本だけではなく、JR他社も関連して

人に寄り添える組織に 白壁 組織部長

白壁 組織部長



◆「JR西労組の仲間として、その方の思いが汲み取られていたのか」といった意見がでていた。

◆何もしないグループ労働者若手組合員に声をかけて、集会などに連れて行った例もあり、他労組の運動の道具に使われてしまう危険があるので、警戒を怠ってはならない。

◆京都地本の若い組合員が、一人国労に行ってしまった。職場集会にも参加させていた。その方が、日頃ど

◆「ただ、今後、骨太運用のあり方、階層のあり方、P職の位置づけ等も含めて、議論していきたい。」

◆「ただ、今後、骨太運用のあり方、階層のあり方、P職の位置づけ等も含めて、議論していきたい。」

◆「ただ、今後、骨太運用のあり方、階層のあり方、P職の位置づけ等も含めて、議論していきたい。」

◆「ただ、今後、骨太運用のあり方、階層のあり方、P職の位置づけ等も含めて、議論していきたい。」

◆「ただ、今後、骨太運用のあり方、階層のあり方、P職の位置づけ等も含めて、議論していきたい。」

◆「ただ、今後、骨太運用のあり方、階層のあり方、P職の位置づけ等も含めて、議論していきたい。」

◆「ただ、今後、骨太運用のあり方、階層のあり方、P職の位置づけ等も含めて、議論していきたい。」

◆「ただ、今後、骨太運用のあり方、階層のあり方、P職の位置づけ等も含めて、議論していきたい。」

◆「ただ、今後、骨太運用のあり方、階層のあり方、P職の位置づけ等も含めて、議論していきたい。」

労働運動の次世代への継承を

いし、是非、この思いをさらに強く、みなさんも後輩たちに、伝えていただきたい。

◆「安全考動計画2022」が策定されて、2件の

◆「安全考動計画2022」が策定されて、2件の